



Scopus利用記録レポートガイド

2019年1月版

英語版の翻訳になります。

https://p.widencdn.net/a8d6y6/COUNTER_report_descriptions_Scopus

目次

COUNTER レポート.....	3
概説.....	3
含まれるプラットフォーム.....	3
利用可能な月.....	3
COUNTER レポートの取得.....	3
プラットフォームおよびデータベースレポート.....	5
PR - プラットフォームマスターレポート.....	5
PR_P1 - プラットフォーム.....	5
DR - データベースマスターレポート.....	5
DR_D1 - データベースサーチおよびアイテム.....	5
COUNTER用語集.....	6
レポート: COP4 と COP5の比較.....	6
COUNTER メトリクス.....	6
属性.....	8
補足レポート.....	8
概要.....	8
Report 1a. General Overview.....	8
メトリクスの定義.....	8
Report 2a. Searches by Type.....	8
メトリクスの定義.....	8
Report 2b. Search Results by Type.....	9
メトリクスの定義.....	9
Report 3a. Inward Linking.....	9
メトリクスの定義.....	9
Report 3b. Outward Linking to Documents.....	10
メトリクスの定義.....	11



Report 4a. Infometric Use	11
メトリクスの定義	11
Report 5a. Literature Discovery	11
メトリクスの定義	11
Report: SD&SC_ Product usage via API per API type	11
Overview :	11
Product usage via API per API type	11
補足レポート用語集	12



COUNTER（カウンター）レポート

2019年以降、エルゼビア利用記録レポートは、COUNTER(Counting Online Networked Electronic Resources)の実施規則第5版 (Code of Practice Release 5 : 以後COP5) に準拠しています。COUNTERは、本実施規則において、マスターレポートおよび標準レポートの2種類のレポートを規定しています。マスターレポートは、ユーザーがカスタマイズすることができ、ユーザーは、レポートに含まれるべきメトリックおよび属性、ならびにレポートのフィルタ方法を決定できます。よく使われるケースを想定して、COUNTERは標準レポートを定義しました。これは、マスターレポートをあらかじめフィルタ処理したレポートです。

概要

含まれるプラットフォーム

マスターレポート : Scopusマスターレポート (PRとDR) は、Scopus.com およびAPIを介して利用統計を提供します。APIの利用統計は、主にテキストおよびデータマイニングアクセスタイプ (TDM) に分類されません。

標準レポート : COUNTERガイドラインに従って事前にフィルタリングされています。TDMの利用統計は、これらのレポートに含まれていません。

利用可能な月

新しいCOUNTER実施規則COP5のメトリクスは、2019年1月以降に利用可能となります。

追加として、いくつかのメトリクスは過去数年間分を用意しました。関連するメトリクスは、直接的にCOUNTER実施規則第4版 (Code of Practice Release 4 : 以後COP4) と同等のもので、データはCOP5の定義 (出版年、アクセス方法およびアクセスタイプ) に従って分割することもできます。この2019年以前のデータは、COP4データ処理規則が使用されているため、COP5に準拠していません。(HTML使用のダブルクリックフィルターが10秒に設定されているなど)。これらのデータをCOP5レポートに含めることには、2つの明確な利点があります。(1) 同じレポートにおいて過去のデータを取得することができます。(2) COP4メトリクスは、COP5メトリクスと同じ方法で分割することができるため、比較できる可能性を高めることができます。

COUNTER レポート検索

COUNTERレポートは、SUSHIまたはWebインターフェイス経由で検索できます。SUSHIについての詳細は、<https://www.elsevier.com/librarians/usage-reports>を参照してください。

AdminTool、並びにElsevier Product Insights for customersでは、製品を選択した後、それ適用可能なレポートの1つを選択できます。「開始」および「終了」の日付ならびにエクスポート形式を選択します (TSVは、Excelまたは類似のプログラムで開くことができる区切られたタブファイルです。JSONは、SUSHI準拠の形式です)。「実行」をクリックすると、レポートはバックグラウンドで実行されます。

マスターレポート (PRまたはTR) を選択した場合は、それに適用可能なメトリクス、フィルタおよび属性の選択肢が表示されます。属性をレポートに列として表示する場合はチェックボックスをオンにし、属性でフィルタする場合はドロップダウンメニューをクリックします。

Counter reports (COP5) retrieval

*Required fields

- Science Direct
 Engineering Village
 Scopus

Choose report*

From*

To*

Export format

- TSV JSON



Master Report

Metric Type*

Show in Report

Access Method

Access Type

Year of publication

From To

+ Add another range


Data Type

Section Type

Execute

レポートのステータスは、「リクエスト済レポートステータス」で確認することができます。レポートは数日間利用できるようになります。ステータスアイコンをクリックしてレポートをエクスポートまたは開くことができます。

Requested report status (COP5)

Customer Id	Report name	Product	Format	Status	Date submitted (mm/dd/yyyy)	Expiring date (mm/dd/yyyy)
C0000000	PR_P1	SD	TSV			



ELSEVIER

プラットフォームおよびデータベースレポート

Scopusは、COUNTERのホストタイプA&I_Databaseを有しており、そのためプラットフォームレポート（PR、PR_P1）およびデータベースレポート（DR、DR_D1）を提供いたします。no_licenseおよびaccess_deniedの概念がプラットフォームには適用されないため、ScopusはDR_D2を提供しません。レポートの正式な説明については、[COUNTERのWebサイトにあるCOP5セクション](#)を参照してください。新しいメトリクスの概要は、[COUNTERレポートの用語集](#)にあります。

PR - プラットフォームマスターレポート

プラットフォーム全体にわたるアクティビティをまとめたカスタマイズ可能なレポートで、ユーザーは必要に応じて、列、メトリクス、属性およびフィルタをカスタマイズすることができます。ユーザーは、検索、リクエストおよび調査を含めることができます。

PR_P1 - プラットフォーム利用記録標準レポート

メトリクスタイプ別にまとめられたプラットフォームレベルの利用統計を提供するプラットフォームマスターレポートの標準ビューです。このレポートには、検索プラットフォーム（searches_platform）、トータルアイテムリクエスト（total_item_requests）およびユニークアイテムリクエスト（unique_item_requests）というメトリクスが含まれています。

DR - データベースマスターレポート

ユーザーがフィルタを適用し、かつその他の構成オプションを選択することが可能であり、データベース別のアクティビティに関する包括的な情報を提供します。Scopusは、単一のデータベースなので、このレポートにおける唯一のデータベースはScopusになります。ユーザーは、検索、リクエストまたは調査を含めることができます。

DR_D1 - データベースサーチおよびアイテム利用記録標準レポート

この標準ビューでは、データベースを評価するために必要とされる主要なメトリクスについてレポートします。このレポートには、自動検索（searches_automated）、統合検索（searches_federated）、通常検索（searches_regular）、トータルアイテム調査（total_item_investigations）およびトータルアイテムリクエスト（total_item_requests）のメトリクスが含まれます。



レポート： COP4 と COP5 の比較

以下の表は、どのCOUNTER COP5レポートがCOP4レポートの比較情報を示しています。

COP4 レポート	COP5 レポート	注記
PR1	PR_P1	PR_P1では、プラットフォーム上のサーチ (Search_regular) およびプラットフォーム外の検索は区別されません。レコードビュー (COP4) は、トータルアイテムリクエストと同一です (COP5)。
PR1	DR_D1	レコードビュー (COP4) は、トータルアイテムリクエスト (COP5) と同一です。

COUNTER メトリクス

メトリクスおよび属性の正式な定義については、[COUNTERのWebサイトにあるCOP5のセクション](#)を参照してください。

注記： ユニークアイテムメトリクスは、ジャーナルおよびブックブックの両方に適用されます。ユニークタイトルメトリクスは、ブックブックのみに適用されます。ユニークメトリクスは、ユーザーセッション内で計算されます。ユニークメトリクスは、ユーザーセッション内において計算されます。ユーザーセッションは、1人のユーザーがサービスまたはデータベースに接続し、明示的（終了またはログアウトを介してサービスを終了することによる）または暗黙的（ユーザーの非アクティブによるタイムアウト）のいずれかによってアクティビティを終了することによって、終了します。

Searchs:	ユーザー主導の知的クエリ 結果リストまたは既存の結果リストへの変更をもたらすユーザーアクション		
メトリクス名	説明	プラットフォーム固有の注記項	COP4との対比
Seach_Platform	ユーザーによって行われ、プラットフォームレベルで保存された検索		
Searches_Regular	ホスト上でユーザーが行った検索で、ユーザーが検索対象のデータベースをコントロールしている場合。		はい - Regular Searches
Searches_Federated	統合検索サービスを介して行われた検索		はい - Searches-federated and automated (注： Scopusには自動サーチはありません)
Requests:	Requestsは、Scopusにおける全レコードの利用記録に関連しており、それは、レコードページ、著者の詳細、所属機関の詳細および収録誌の詳細に関連しています。		
メトリクス名	説明	プラットフォーム固有の注記項	COP4との対比

Searches_Automated	ディスカバリレイヤーからの検索で、ユーザーインターフェイスから単一のクエリで複数のデータベースが同時に検索される場合。エンドユーザーは、どのデータベースが検索されるかを選択する責任を負いません。	Scopusには、適用しません。	
Total_Item_Requests	コンテンツアイテムがリクエストされた合計回数	Scopusでは、アイテムは、抄録、著者詳細、収録誌のページまたは所属機関詳細です。	はい - レコードビュー
Unique_Item_Requests	ユーザーセッションにおいてリクエストされたユニークコンテンツアイテムの数	アイテムに対する複数の要求は、ユニークアイテムリクエストのユーザーセッション内で統合されます。	
Unique_Title_Requests	ユーザーセッションにおいてリクエストされたユニークタイトルの数	ブックブックタイトル内のアイテムに対する複数のリクエストは、ユニークタイトルリクエストのユーザーセッション内で統合されます。	
Investigaion:	Investigationには、リクエスト（上記参照）、ならびにその他のプラットフォームおよびILL上のフルテキストへのリンクが含まれます。		
メトリクス名	説明	プラットフォーム固有の注記	COP4との比較
Total_Item_Investigations	コンテンツアイテムまたはコンテンツアイテムに関連する情報がアクセスされた合計回数	Scopusでは、アイテムは、抄録、著者詳細、収録誌のページまたは所属機関詳細です	
Unique_Item_Investigations	ユーザーセッションで調査されたユニークコンテンツアイテムの数。	アイテムの複数の調査は、ユニークアイテム調査のユーザーセッション内で統合されません。	
Unique_Title_Investigations	ユーザーセッションで調査されたユニークタイトルの数。	ブックのタイトル内にあるアイテムに対する複数の調査は、ユニークアイテム調査のユーザーセッション内で統合されません。	
アクセス拒否メトリクス			
Limit_exceeded	ユーザーの所属機関にライセンスされた同時ユーザー制限を超えたためにアクセスが拒否された回数。	Scopusには、同時ユーザー制限はありません。	



ELSEVIER

No_License	ユーザーの所属機関にコンテンツへのライセンスがないためにアクセスが拒否された回数。	Scopusには、このコンセプトはありません。	
------------	---	-------------------------	--

属性

属性名	説明	Scopusレポートに適用可能な値
Access_method	この属性は、利用統計がWebサイトを閲覧および検索する利用者（「Regular」）によって生成されたのか、テキストおよびデータマイニングプロセス（「TDM」）によって生成されたのかを示します。	Regular; TDM
Access_type	この属性は、コンテンツアイテムがアクセスされたときにコンテンツアイテムにアクセスタイプが設定されている場合、その性質について報告するために使用されます。アクセスは許可されたユーザーに制限されているため、アイテムが開かれなかった場合、アクセスタイプは「Controlled」です。「OA_Gold」は、APC（記事処理料）が支払われたため、コンテンツアイテムが即時かつ恒久的にオープンアクセスとして利用可能であったことを示します。	Controlled
Data_type	コンテンツの種類を識別するフィールド。検索に適用可能。	Database; Platform

補足レポート

概説

必要とされるCOUNTERレポートに加えて、Scopusは、利用記録についてのより詳細な追加のレポートセットを提供します。これらのレポートはSC_Usage Reportsという名前でグループ化されています。

Report 1a. General Overview

このレポートはScopusの主なメトリクスについての簡単な説明を提供し、当年および前年全体のデータを表示します。

メトリクスの定義

- **Regular Searches**は、上述のDRレポートにおけるメトリクスSearch_regularと同じです。
- **Literature Discovery**は、Document Record Views（ドキュメントレコードビュー）およびOutward Links to Documents（ドキュメントへの外部リンク）の合計です。これら2つのメトリクスの内訳は、report 5aに記載されています。
- **Infometric Use**は、Scopusの分析ツールを使用するための合計数です。このメトリクスの内訳は、report 4aに記載されています。

Report 2a. Searches by Type

このレポートには、タイプ別検索の内訳が表示され、ユーザーが実行しているタスクの種類を表示しています。

メトリクスの定義

- **Searches for documents**は、検索クエリを入力および送信するか、または検索を開始するリンクをクリックするかのいずれかで実行されたプラットフォーム上でのドキュメントの検索をすべてカウントします（例、特定の文献の引用数）。



- **Searches for authors**は、検索クエリを入力および送信するか、または検索を開始するリンクをクリックするかのいずれかで実行されたプラットフォーム上の著者検索をすべてカウントします（例、特定の機関の著者の数）。
- **Searches for affiliations** は、検索クエリを入力および送信するか、または検索を開始するリンクをクリックするかのいずれかで実行されたプラットフォーム上の所属機関検索をすべてカウントします。
- **Searches for sources**は、検索クエリを入力して送信するか、または検索を開始するリンクをクリックするかのいずれかで実行されたプラットフォーム上の収録誌の検索をすべてカウントします。
- **Searches for citing documents**は、特定の文献を引用している文献のプラットフォーム上での検索をすべてカウントします。
- **Searches for referred documents**は、特定の文献によって引用されている文献のプラットフォーム上での検索をすべてカウントします。
- **Searches for related documents**は、特定の文献に関連する文献のプラットフォーム上での検索をすべてカウントします。
- **Searches from external origin**は、Scopusに送信された外部検索フォームからのすべての検索をカウントし、結果リストを生成します（例、federated searches）。

Report 2b. Search Results by Type

このレポートは、タイプ別の検索結果リストの内訳、および検索結果リストの異なるタイプから発生したレコードビューの内訳を示します。データは、当年と前年全体についてレポートされます。

メトリクスの定義

- **Document Result Lists**は、ドキュメント結果を示す検索結果リストの数をカウントします。
- **Record Views from Document Result Lists**は、Document Result Listからの結果をクリックして表示されたドキュメントレコードの数をカウントします。
- **Author Result Lists**は、著者の検索結果を示すリストの数をカウントします。
- **Record Views from Author Result Lists**は、Author Result Listからの結果をクリックして表示された著者レコードの数をカウントします。
- **Affiliation Result Lists**は、所属機関検索の結果を示すリストの数をカウントします。
- **Record Views from Affiliation Result Lists**は、Affiliation Result Listからの結果をクリックして表示された所属機関レコードの数をカウントします。
- **Source Result Lists**は、収録誌の検索結果を示すリストの数をカウントします。
- **Record Views from Source Result Lists**は、Source Result Listからの結果をクリックして表示された収録誌レコードの数をカウントします。

Report 3a. Inward Linking

このレポートは、Scopusのデータへの毎月の利用記録を示しています。Inward links（内部へのリンク）は、利用者を直接 Scopus レコードまたは結果リストに導きます。データは、当年と前年全体についてレポートされます。

メトリクスの定義

- **Alerts** : 異なったタイプのアラートからのInward linksで、電子メールのアラートからのエントリも数えます。検索アラート、著者引用アラート、引用アラートなど。
- **Other Elsevier websites and solutions** : 他のエルゼビアのウェブサイトからのInward links : ScienceDirect、SciVal、Engineering Village、Reaxys、Mendeley、The Lancet、PURE など
- **Inward Links from RSS feeds**は、RSSフィードからのScopusエントリの数をカウントします。Scopusは、文書検索、引用検索および関連文書検索用のRSSフィードを提供しています。



- **Inward Links from Elsevier API Clients**は、エルゼビア APIクライアントからScopusへのエントリ数をカウントします。
- **OpenURL Links from EBSCOHost**は、OpenURLメカニズムを介してEBSCOHostからScopusへのエントリ数をカウントします。
- **OpenURL Links from SFX**は、OpenURLメカニズムを介してSFXからScopusへのエントリ数をカウントします。
- **Inward Links from Reference Manager and RefWorks** は、Reference ManagerおよびRefWorksから生成されるScopusのエントリ数をカウントします。Reference ManagerおよびRefWorksから、ユーザーはScopusレコードページまたは関連文書または引用文献を含む結果リストにリンクすることができます。
- **Inward Links from ORCID**は、ORCID.org Webサイトから発信されたScopusのエントリ数をカウントします。
- **OpenURL Links from Other Origin**は、OpenURLメカニズムを介してScopusへのその他のすべてのエントリ数をカウントします。

Report 3b. Onward Linking to Documentsこのレポートでは、当年および前年1年間の1か月ごとの出版社サイトにおけるドキュメントへのOutward Links（外部リンク）の利用記録が表示されます。Scopusは、出版社へのリンクでの表示、リンクリゾルバのリンク表示、Webリンクでの表示、直接的なフルテキストリンク、ライブラリ間/ドキュメント配信のリンクおよびダウンロードマネージャによるドキュメントなど、異なったタイプのリンクを提供します。

メトリクスの定義

- **View at Publisher Links**は、CrossRefでカバーされている何らかのタイトルで公開されているフルテキストドキュメントへのリンク、およびCrossRefでカバーされていないかまたは部分的にしかカバーされていない800の追加タイトルにおける記事へのリンクの使用をカウントします。
- **Link Resolver Links**は、図書館のリンクリゾルバ、例えばLinkFinderPlus、SFX、SIRSIリゾルバなどを介したドキュメントへのリンクの使用をカウントします。
- **View on Web Links**は、Web上のドキュメントへのリンクの使用をカウントします。
- **Direct Full-Text Links**は、フルテキストドキュメントへのリンクの使用をカウントします、例、ローカルリポジトリまたはオンサイトホスティングプラットフォーム。ボタン上のリンクおよびテキストは、顧客によって完全にカスタマイズ可能です。ボタンに「フルテキスト」のような表現が表示される場合があります。
- **Interlibrary/Document Delivery Links**は、「Order Document（ドキュメントの注文）」、「Interlibrary Loan（ライブラリ貸し出し）」、「British Library Direct（ブリティッシュライブラリダイレクト）」などのドキュメント配信フォームへのリンクの使用をカウントします。
- **Documents via Download Manager**は、Document Download Managerを介してダウンロードされたドキュメントの数をカウントします。その場合、Document Download Managerは、検索結果リストの上部にある「ダウンロード」リンクからアクセスできます。

Report 4a. Infometric Use

このレポートは、著者詳細および所属機関詳細へのアクセス、Citation Overview およびエクスポートなどのScopusの研究パフォーマンス測定ツールの使用に関する情報を提供します。このレポートは、当年と前年全体をカバーしています。

メトリクスの定義

- **Affiliation Profile Views**は、所属機関詳細ページの使用をカウントします。
- **Author Profile Views**は、著者詳細ページの使用をカウントします。



- **Analyze Author Output Views**は、Analyze Author Outputページビューをカウントします。そのページ内の異なるタブへの各切り替えは、カウントに含まれます。
- **Citation Overview Requests**は、Citation Overview ページのビューをカウントします。概要の各更新は、カウントに含まれます。
- **Citation Overview Exports**は、Citation Overviewページからのエクスポートの実行をカウントします。
- **Compare Journals Analyzer Views**は、Scopus Journal Analyzerの使用をカウントします。ジャーナルの追加またはタブそれぞれの変更は、カウントに含まれます。
- **Publication Metrics Views**は、論文評価指標ページのビューをカウントします。そのページ内の異なるタブへの各切り替えは、カウントに含まれます。
- **Results Analyzer Views**はScopus Results Analyzerの使用をカウントします。結果の追加またはタブの変更のそれぞれは、カウントに含まれます。
- **Cited-By Clicks**は、Cited-Byの検索が実行された回数をカウントします。

Report 5a. Literature Discovery

このレポートは、Document Record Viewsおよび文書へのOutward Linksを含みます。このレポートは、当年と前年全体のデータを提供します。

メトリクスの定義

- **Document Record Views**は、フルドキュメントレコードビューの数をカウントします（結果リストにおける要約プレビューを除く）。
- **Outward Links to Documents**は、report 3bのすべてのメトリクスの合計です。文書へのOutward LinksおよびScopusからフルテキストへの外部リンクの合計使用量を測定します。

レポート： SD&SC_Product usage via API per API type

APIはアプリケーションプログラミングインターフェースのことで、エルゼビア製品およびWebサイトから外部でエルゼビアデータにアクセスするために使用することができます。例えば、Text Retrieval APIsは、テキストおよびデータマイニング（TDM）のフルテキストの抽出またはメタデータの抽出に使用することができます。Non-TDM APIsは、メタデータを検索するために使用されます。このレポートは、APIを通して製品の利用統計を示します。これには、TDMを介してのフルテキストの利用、検索、およびメタデータの取得などが含まれます。これは、ScienceDirectおよびScopusのAPIタイプごとのAPI経由のリクエストをレポートします。

Overview:

このシートには、含まれるデータの説明およびデータのグラフィック表示表現が記載されています。

Product usage via API per API type :

このレポートは、APIごとのAPI呼び出しを示します。製品ごとのフィルタリング（ScienceDirectまたはScopus）が可能です。レポートには、開発者がAPIおよびAPI Categoryに割り当てた名前であるアプリケーション名が表示され、それらはAPIの主な目的を示しています。API Categoryの例は、Academic TDM、Citation Count、Federated Search、その他、Research Performance Tracking、SD Repository Integrationなどです。



補足レポート用語集

API タイプ		
API 名	プラットフォーム	例
Article Retrieval API	ScienceDirect	ドキュメント識別子を指定し、ユーザーの資格に応じて文献または文献の抄録を返します。Article Retrieval API の応答には、文献に関連しているさまざまなオブジェクトへのリンクが含まれています。テキストおよびデータマイニングの目的に使用できます。
ScienceDirect Query API	ScienceDirect	特定の検索条件に基づいてScienceDirectコンテンツを検索することをユーザーに許可します。
Full-Text Entitlement API	ScienceDirect	アカウントがScienceDirectを保有していることに基づいて利用記録レポートを返します。データは、Knowledge Base and Related Tools (KBART) 形式で配信されます。
Object Retrieval API	ScienceDirect	フルテキスト記事に関連するオブジェクトを返します。
Scopus Query API	Scopus	特定の検索条件に基づいてScopus Abstractを検索することができます。
Abstract Retrieval API	Scopus	特定のドキュメントのScopus Abstractで、これには、著者詳細および所属機関詳細など、抄録に関するさまざまな詳細へのリンクを含みます。
Author Retrieval API	Scopus	Author Retrieval : 特定の著者のScopus著者詳細。
Abstract Citation Count Metadata API	Scopus	特定のScopus Abstractに対するScopusの引用カウントイメージ。
Author Search API	Scopus	特定の検索条件に基づいて、Scopusの著者詳細を検索することをユーザーに許可します。
Abstract Citation Count API	Scopus	特定のScopus 文献に対するScopusの引用カウントイメージ。
Affiliation Retrieval API	Scopus	特定の機関に対するScopusの所属機関詳細。